



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 井上 富雄
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



父兄会秋季部会が開催されました

教育委員長 井上 美津子

平成23年度の父兄会秋季部会は、10月22日(土)の午後1時より開催されました。秋季部会のご父兄と指導担任との個別の懇談が中心となっています。最初に各学部の部会が行われ、歯学部は旗の台校舎4号館5階500号室にて30分ほど全体会議を行いました。宮崎歯学部長から最近の昭和大学歯学部の現状報告を含めた挨拶と井上教育委員長から学部連携教育を含めた新しいカリキュラムの説明や進級試験・卒業試験の説明などが行われた後、上條学生部長より学年主任・副主任の紹介と指導担任の紹介がありました。その後懇談会に移り、基礎系の各教室やPBL教室、会議室などに場所を移してご父兄とそれぞれの指導担任との面談が行われました。例年、歯学部は4学部の中なかでもご父兄の出席率が高く、本年の出席率も高い割合でした。面談では、日常の学生生活や講義への出席状況、試験の成績などについて熱心な話し合いがなされました。また5、6年生のご父兄からは、臨床実習の状況や卒業試験の成績、歯科医師国家試験への準備や臨床研修のマッチングから将来の進路までさまざまな質問が出されたり、意見交換が行われたりしました。今年は6年生のマッチングがやや悪かったため不安を示されたご父兄もみられました。



午後3時30分からは他学部のご父兄と合流して、7号館(50周年記念館)にて懇親会が開かれました。美味しい料理と飲み物で、ご父兄と教員間およびご父兄同士の話に花が咲き、和やかな時間が過ぎました。日が暮れる頃、名残惜しいなかで懇親会はお開きになりました。

出席いただいたご父兄をはじめ、指導担任の先生方、教務部の皆様、ありがとうございました。



平成23年度解剖慰霊祭開催される

口腔解剖学講座 江川 薫

平成23年度解剖慰霊祭が10月18日(火)午後2時より、御遺族・来賓・学内関係者・学生の参列のもと、上條講堂においてしめやかに行われました。本年度慰霊された献体者は病理解剖または解剖学実習のための正常解剖に供された212柱の方々に、この中には歯学部の解剖学実習のために献体された方が24柱含まれています。式には161名の御遺族と、医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部の学生631名が参列しました。歯学部の解剖学実習は5月から6月まで行われ、解剖させていただいた献体者と御遺族に対し、感謝の意を込めて歯学部2年生が参列しました。

開会の辞に続いて、物故者とともに東日本大震災の犠牲者の御冥福をお祈りして、参列者全員で黙祷が捧げられました。昭和大学を代表して大学病院病理診断科の九島已樹准教授が祭文を述べられ、続いて学生代表として医学部2年の神林昂宏君が弔辞を述べました。片桐学長より参列者に御礼と感謝の気持ちを述べた御挨拶があり、参列者全員が祭壇の前で献花を捧げて、閉会の辞により午後3時に解剖慰霊祭は終了しました。



若手研究(スタートアップ)の交付が内定しました

研究活動委員会 上條 竜太郎

8月20日、日本学術振興会は平成23年度科学研究費補助金(研究活動スタート支援)の交付内定(新規課題分)を公表しました。本研究費は研究活動をスタート(あるいは再スタート)しようとする者を支援するものであり、前年秋の時点で科研費に応募できなかった者を対象としています。本学の内定者は4名で全員が歯学部です。内定を受けた研究者は谷口誠(口腔微生物学)、村上明日香(歯科理工学)、宮内知彦(歯科補綴学)、布施晴香(小児成育歯科学)の4名です(敬称略)。今後の研究成果に期待致します。

白菊会連合会総会開催される

口腔解剖学講座 中島 功

白菊会連合会平成23年度総会が10月30日(日)日比谷公会堂にて開催されました。当日は曇天ではありませんでしたが比較的暖かく794名が出席され、昭和大学歯学部からも29名の会員の皆様が参加されました。総会は13時30分より今回の当番校である、防衛医科大学校の小林 靖教授による開会の辞で始まり、次いでこれまでに御献体いただいた物故会員ならびに今年は特別に東日本大震災で他界された方々のご冥福を祈り参加者全員で黙禱をささげました。続いて防衛医科大学校校長、文部科学省高等教育局医学教育課長、日本解剖学会理事長、日本篤志献体協会理事長、篤志解剖全国連合会会長、白菊会連合会会長の挨拶、献体活動貢献者への感謝状贈呈が行われました。その中で、本学の江川准教授に昭和大学歯学部開設以来の献体業務に対する貢献が認められ感謝状が授与されました。最後に、今回の当番校である日本大学松戸歯学部の金澤英作教授の閉会の辞で総会は終了しました。休憩を挟んだ後、アトラクションとして防衛医科大学校の学生による弦楽演奏に続き、アコーディオン伴奏による参加者全員による唱歌の合唱が行われ会員の方々は大いに楽しみ、15時30分に終了しました。



大学院が変わります

歯学研究科運営委員長 佐藤 裕二

来年度より、大学院教育の充実のため、60分授業を90分にし、単位制度を整備します。歯科病院等での臨床実習も単位として明文化されます。主科目14単位、副科目14単位と決められていたのも、最低単位数だけを主科目10単位、副科目6単位とし、指導教員と相談して、融通がきくようにしました。

学位論文の英語化や国際学会での発表をさらに推進するためにさらに英語教育充実として、60分×30回を90分×30回にします。また、大学で行われるTOEIC IPテスト(12月3日)の受験を推奨しています。

2月18日に行われる大学院入試Ⅱ期の説明会は、12月16日16時から旗の台で行われ、願書×切は2月10日です。研究者マインドを持ち、国際的にも活躍できることは大きな魅力だと思います。多くの方が大学院に進学することを願っています。

江川准教授白菊会総会で

感謝状授与

口腔解剖学講座 中村 雅典



去る10月30日(日)に開催された「白菊会連合会平成23年度総会」において、口腔解剖学講座の江川薫准教授に感謝状が授与されました。白菊会連合会は東京大学、昭和大学をはじめとする12大学14学部から構成される篤志献体団体です。昭和52年の本学歯学部創設に伴い、「昭和大学歯学部白菊会」が発足しました。江川准教授は、人体解剖学教育に欠くことのできないご遺体収集活動を本学創設時から約30年にわたり携わり、真摯に白菊会入会希望者や会員さんに接し、会の発展と解剖学教育の向上に努めてきました。今日、本学歯学部における人体解剖学実習を恙無く行うことができるのは、この白菊会の運営の賜物であります。現在まで、歯学部白菊会の会員数は物故者を含め、約1000名となりました。このような白菊会での貢献に対し、白菊会連合会より感謝状をいただきました。人体解剖学実習なくして、我が国の医学・歯学教育は成立しません。今回の感謝状の贈呈は、昭和大学にとって、とても名誉なことと思います。



インフルエンザワクチン接種について

総合内科学講座 井上 紳

インフルエンザの流行する季節になりました。関東各都県では既に学級閉鎖が聞かれています。今シーズンのインフルエンザワクチンは震災の影響や製造会社の品質試験の結果から納品数の縮小と遅延が生じました。供給されるワクチンはA型株(H1N1・H3N2)およびB型株の混合となっています。歯科病院におけるインフルエンザ予防接種は11月の第4週～5週にかけて2度を予定しています。インフルエンザ予防接種は発症の予防のみでなく症状の軽減に有効です。予防接種のほかの感染対策として、室内を加湿器などで適度な湿度に保つこと、マスクの着用と手洗いの励行があげられます。日常生活で体調を整えて抵抗力をつけることも重要です。

上條奨学賞授賞式が行われました

歯学部長 宮崎 隆

去る11月14日(月)午後5時から1号館5階会議室において、平成23年度昭和大学上條奨学賞授与式が関係者の参加のもと厳粛に執り行われました。上條奨学賞は、本学の学祖上條秀介学長の還暦記念の折りに同学長から寄附された上條奨学基金により職員を表彰するもので、学生を対象とした上條賞とともに、本学最高の表彰制度であります。

今年度は研究業績(学術上有益な研究業績を挙げた者に対する表彰)として、医学部の板橋家頭夫教授、歯学部の山口徹太郎講師、薬学部の柴沼質子教授、保健医療学部の佐藤 満准教授が、教育功績(教育実践上の功績を挙げた者に対する表彰)として、医学部の安本和正教授、歯学部の中村雅典教授、薬学部の木内祐二教授、富士吉田教育部の高木利一教授が表彰されました。山口講師は「顎口腔領域における形質の遺伝因子同定に関する研究」に対する研究業績が評価され、また中村教授は「歯学教育への能動的学習法の導入」に関する長年の功績により表彰されたものです。

授与式では片桐学長がまず挨拶され、引き続き学長から受賞者お一人ずつに表彰状と楯、ならびに副賞が授与されました。小口理事長の祝辞のあと、出席者一同で校歌を斉唱し、閉会しました。受賞された先生方が今後益々研究と教育にご活躍されることを期待いたします。



大学院留学生を受け入れました

歯科補綴学講座 樋口 大輔

11月1日から約1ヶ月間、ラフル先生(Dr. Rahul Shyamrao Kulkarni)が補綴学講座に滞在しております。これは日本補綴歯科学会とインド補綴学会との交流事業によるもので、ラフル先生はインドの歯科界から選抜された非常に優秀な先生です。出身はナーグプル(Nagpur)というインドのほぼ中央に位置する人口465万人の都市です。

滞在中は歯科病院のインプラント治療を中心とした外来見学の他、ジルコニアへの接着実験を歯科理工学講座の宮崎教授、藤島先生のご協力を頂きながら進めております。

短い期間ではありますが、見かけましたら「ナマステ」と声を掛けてください。



塚崎雅之君(歯学部5年)が平成23年度優秀学生顕彰において学術部門の大賞に選ばれました

口腔生化学講座 山田 篤

独立行政法人「日本学生支援機構」、平成23年度優秀学生顕彰(JASSO's Student of the Year 2011)において、歯学部5年生の塚崎雅之君が学術部門の大賞に選ばれました。本顕彰は日本学生機構が、学術、文化・芸術、スポーツ、社会貢献の各分野で優れた業績を挙げた学生・生徒に対し授与しているものです。過去にはフィギュアスケートの高橋大輔、体操の内村航平などの方々も受賞しました。表彰式は12月10日、アルカディア市ヶ谷(私学会館)で行われる予定です。



平成23年度永年勤続者表彰式開催される

歯学部長 宮崎 隆

去る11月8日(火)に上條講堂において、学校法人昭和大学の平成23年度永年勤続者表彰式が執り行われました。グリークラブの校歌斉唱に引き続き、小口勝司理事長から、35年、25年、15年の永年勤続者がそれぞれの立場から大学の発展に長年貢献していただいたことに対する感謝とともに、本大学に勤務していることに誇りを持って今後益々活躍されますようにと挨拶がありました。

今年度の表彰対象者は155名で、小口理事長から各勤続年代表者に、表彰状と記念品が授与されました。記念撮影のあと、タワーレストラン昭和に会場を移し、懇親会が開催されました。田口人事担当理事から、恒例の35年、25年、15年前の世相や当時の大学の状況を紹介した挨拶があり、片桐学長の乾杯のあと、楽しいひと時を過ごしました。

歯学部関係の表彰者は以下の通りです。(敬称略)今後の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

25年: 島田幸恵(小児成育歯科学), 岩野謙一郎(歯科病院フォトセンター), 池田 幸(歯科病院薬局), 松岡志のぶ(口腔外科), 佐藤香織(矯正科), 後藤大介(中央技工室)

15年: 坂井信裕(歯科薬理学), 岡松良昌(昭和大学病院歯科), 松浦光洋(烏山病院歯科), 中納治久(歯科矯正学), 荒木和之(歯科放射線医学), 下平修(高齢者歯科学), 樋口大輔(歯科補綴学), 柴田由美(補綴科), 池本和華子(歯内治療科)

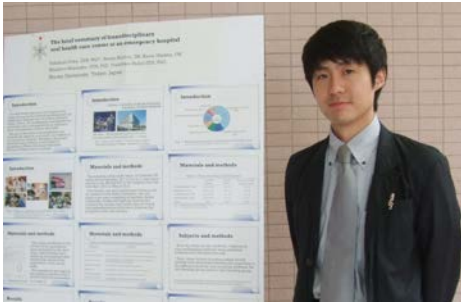


第3回台湾障害者歯科学会で発表しました

口腔衛生学講座 大岡 貴史

9月24～25日に高雄医科大学にて「The 3rd Annual Assembly and Academic Conference of Taiwan Association for Disabilities and Oral Health」が開催されました。学会会員数は少ないのですが、東日本大震災の直後に学会から日本障害者歯科学会に義援金をお送りいただくなど、学術以外の面でも日本との親交の深さを感じました。

招待講演では、日本での「障害児の摂食機能の問題とその対応」、「自閉症児への歯科診療上の対応」について活発な意見交換がなされました。発表自体は英語ですが、台湾の先生方の中には日本に留学経験のある方がおり、日本語での質疑応答も行われた点は興味深い光景でした。質問は台湾語、それが日本語に訳されて演者に届き、演者が日本語で答えた内容を台湾語に翻訳され会場に紹介されるということもありました。



私自身は「The brief summary of transdisciplinary oral health care center at an emergency hospital」というタイトルで、本学横浜市北部病院口腔ケアセンターの活動および対象者の口腔内状況の特徴を報告いたしました。台湾では急性期から歯科が介入することはないようですが、学会のセッションや発表タイトルに「ケアシステム」に類する語が多く含まれ、台湾でも今後の進展が望まれる分野であることが伺えました。

最後に、このような機会を与えていただきました口腔衛生学講座の先生方をはじめ昭和大学の先生方に感謝申し上げます。

最後に、このような機会を与えていただきました口腔衛生学講座の先生方をはじめ昭和大学の先生方に感謝申し上げます。

昇任・採用

広報委員長 井上 富雄

片岡 竜太 教授（歯学教育学講座）
長谷川 篤司 教授（総合診療歯科学講座）

受賞

広報委員長 井上 富雄

- ・江川薫（口腔解剖学講座）：10月30日（日）に開催された白菊会総会にて、感謝状が授与されました。
- ・片岡竜太（歯学教育学講座）：公益社団法人「私立大学情報教育協会」の平成23年度 ICT 利用による教育改善研究発表会で、文部科学大臣賞（最優秀賞）を獲得されました。
- ・塚崎雅之（歯学部5年）：「日本学生支援機構」優秀学生顕彰において学術部門大賞を受賞しました。

平成23年度推薦・編入学試験が実施されました

入試常任委員 山田 庄司

平成23年11月6日（日）に、平成24年度歯学部、薬学部、保健医療学部の推薦入学試験と歯学部の編入学Ⅰ期入学試験が旗の台キャンパスで行われました。

推薦入学試験（25名募集）の志願者数は公募28名、指定校3名の計31名で、昨年とくらべ指定校からの志願者が3名減少しました。編入学試験（若干名募集）の志願者数は7名で昨年から8名減少しました。応募状況からも歯学部を取り巻く環境は依然として厳しい状態であることが伺えます。

当日は一人の欠席者もなく、無事終了しました。合格発表は11月8日（火）午後3時に行われ、推薦入学試験では27名（男10、女17）が、編入学試験では5名（男3、女2）が合格しました。入学手続きは11月16日（水）に締め切り、27日（日）には入学までの心構えや苦手な科目の学習などについてガイダンスを行います。

来る1月26日（木）に選抜Ⅰ期・センター利用Ⅰ期入学試験が行われますが、東京会場は五反田のTOCです。教職員の皆様には今後ともご協力のほど、よろしく願い申し上げます。

認定医取得

広報委員長 井上 富雄

- ・日本矯正歯科学会認定医
歯科矯正学講座 友安 洋子、菱田 桃子
- ・日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医
歯科矯正学講座 山口 徹太郎

診療統計（平成23年10月分）

医事課長 久米 徳明

	患者数	1日平均	前月1日平均	前年1日平均
外来患者	18,085	723.4	732.5	720.4
入院患者	402	13.0	17.2	12.9

行事予定

広報委員長 井上 富雄

- 12月 3日（土）：昭和歯学会例会
- 12月 8日（木）、16日（金）、20日（火）：D3学部連携PBL
- 12月10日（土）：大学院Ⅰ期入試
- 1月14日（土）、15日（日）：センター試験
- 1月26日（木）：選抜Ⅰ期入試

編集後記

口腔微生物学講座 谷口 誠

寒さが日一日と増して参ります。お風邪など召されませぬようご自愛下さい。末筆ではございますが、原稿を執筆して頂きました皆様に感謝申し上げます。